

数値目標達成状況

資料2

1 食を通じて健康な体をつくるための目標

No.	項目	指標	策定年度 (H28)	中間年度 (H30)	目標年度 (R02)	目標値	達成状況
①	食育の関心の向上	食育に関心のある市民の割合(%)	-	95.4	92.8	90.0以上	○
②	朝食の欠食割合の減少	(1)欠食する人の割合(児童・生徒)(%)	0.5	1.4	0.3	0.0	△
		(2)欠食する人の割合(20歳代～30歳代)(%)	13.1	11	4.4	9.0以下	◎
		(3)欠食する人の割合(男性40～50歳代)(%)	9.9	8.1	6.9	9.0以下	◎
③	朝食で野菜・海藻を食べる市民の割合の増加	朝食で野菜・海藻を食べている小中学生の割合(%)	58.3	54.2	57.41	80.0以上	△
④	食事バランスガイド、食育ガイドの認知度の向上	食事バランスガイド、食育ガイドを認知している市民の割合(%)	49.5	80.3	65.8	60.0以上	○
⑤	食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている市民の割合の増加	食品購入時において、栄養成分、原産地、添加物、品質等の表示を参考にする市民の割合(%)	40.0	30.9	22.3	60.0以上	×

2 食を通じて豊かな心を育むための目標

No.	項目	指標	策定年度 (H28)	中間年度 (H30)	目標年度 (R02)	目標値	達成状況
⑥	家族や友人等と一緒に食事を摂る市民の割合の増加	一日最低一食は、家族や友人等と一緒に食事を摂る市民の割合(%)	-	96.8	91.6	50.0以上	○
⑦	農作業に触れる市民の割合の増加	農業体験をしたことのある子どもの割合(%)	85.6	82.9	86.3	90.0以上	△
⑧	食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」を言う市民の割合の増加	一日一回以上、食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」を言う市民の割合(%)	-	91.7	88.1	50.0以上	○

3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くための目標

No.	項目	指標	策定年度 (H28)	中間年度 (H30)	目標年度 (R02)	目標値	達成状況
⑨	地元の農作物を購入する市民の割合の増加	愛知県内で生産された農作物を購入するようにしている市民の割合(%)	34.7	31.0	32.1	50.0以上	△
⑩	食を通じて環境に優しい暮らしに取り組む市民の割合の増加	むだや廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている市民の割合(%)	-	67.0	72.3	50.0以上	◎

4 食育を支えるための目標

No.	項目	指標	策定年度 (H28)	中間年度 (H30)	目標年度 (R02)	目標値	達成状況
⑪	食育の推進に関わるボランティア数の増加	食育の推進に関わるボランティア数(人)	219	244	201	350以上	×

※達成状況について

◎…目標値を達成しており、中間年度調査時よりも数値が改善している。

○…目標値は達成しているが、中間年度調査時よりも数値が悪くなっている。

△…目標値は達成していないが、中間年度調査時よりも数値が改善している。

×…目標値は達成しておらず、中間年度調査時よりも数値が悪くなっている。

数値目標 指標毎の担当課

No.	項目	指標	担当課
①	食育の関心の向上	食育に関心のある市民の割合(%)	みどりの推進課、平成こども塾、給食センター、教育総務課 健康推進課、子ども未来課、長寿課
②	朝食の欠食割合の減少	(1)欠食する人の割合(児童・生徒)(%)	給食センター、教育総務課
		(2)欠食する人の割合(20歳代～30歳代)(%)	健康推進課
		(3)欠食する人の割合(男性40～50歳代)(%)	健康推進課
③	朝食で野菜・海藻を食べる市民の割合の増加	朝食で野菜・海藻を食べている小中学生の割合(%)	教育総務課、給食センター
④	食事バランスガイド、食育ガイドの認知度の向上	食事バランスガイド、食育ガイドを認知している市民の割合(%)	みどりの推進課
⑤	食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている市民の割合の増加	食品購入時において、栄養成分、原産地、添加物、品質等の表示を参考にしている市民の割合(%)	みどりの推進課
⑥	家族や友人等と一緒に食事を摂る市民の割合の増加	一日最低一食は、家族や友人等と一緒に食事を摂る市民の割合(%)	みどりの推進課、平成こども塾、給食センター
⑦	農作業に触れる市民の割合の増加	農業体験をしたことのある子どもの割合(%)	みどりの推進課、平成こども塾、子ども未来課、教育総務課
⑧	食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」を言う市民の割合の増加	一日一回以上、食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」を言う市民の割合(%)	平成こども塾、給食センター
⑨	地元の農作物を購入する市民の割合の増加	愛知県内で生産された農作物を購入している市民の割合(%)	みどりの推進課、給食センター
⑩	食を通じて環境に優しい暮らしに取り組む市民の割合の増加	むだや廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている市民の割合(%)	みどりの推進課、平成こども塾、環境課、教育総務課 子ども未来課
⑪	食育の推進に関わるボランティア数の増加	食育の推進に関わるボランティア数(人)	全課

※別添、調査シートに記載されている「関連する数値目標」を参考に担当課を割り振りました。

No.① 1 食を通じて健康な体をつくるための目標

項目:食育の関心の向上

指標:食育に関心のある市民の割合(%)

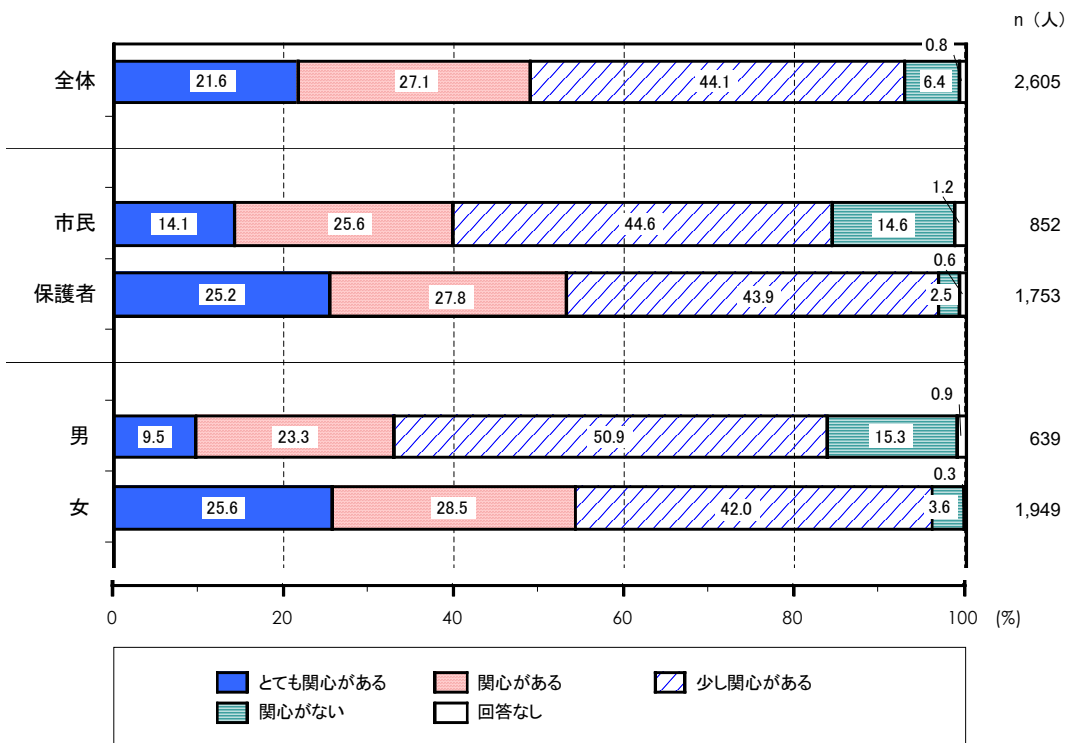
策定年度 (H28)	中間年度 (H30)	目標年度 (R02)	目標値	達成状況
-	95.4	92.8	90.0以上	○

<担当課>

みどりの推進課、平成こども塾、給食センター、教育総務課、健康推進課、子ども未来課
長寿課

<アンケート結果>

市民・保護者問 あなたは食育について関心がありますか。(1つに○印)



※とても関心がある、関心がある、少し関心があるを計上

<各課回答>

<取組事業>

【みどりの推進課(農政係)】

市ホームページ及び広報で、食事バランスガイド及び食育ガイドについてや、食育月間についての記事を掲載した。また、みどりの推進課窓口に真菜の種を設置及び市HPで真菜を紹介した。

【平成こども塾】

学校連携事業及びサポート隊事業において1年間を通じて食プログラムを実施している。サポート隊事業においては、食と農班の中の「こどもファーム」がほぼ毎週活動しており、その中で、自分たちで米や野菜類の苗を植えたり、種子を播いたりして栽培し、その後、管理、収穫等を行い、米や野菜類についての意識を高めた。収穫物を使っての食プログラムも実施した。

【給食センター】

児童生徒の家庭に対し、毎月の献立表や学期ごと発行の学校給食だより「ながくての給食」で、食育に関する情報を発信し、また、一般向けにホームページに給食レシピの掲載や施設

【教育総務課】

生活科、家庭科、体育、保健、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の授業や給食の時間を中心に、担任や教科担任、あるいは学校栄養教諭による指導を行った。

給食委員により、毎月の給食目標の呼びかけを行った。

栄養教諭による栄養指導473回(長小166回、南小162回、長中145回)

授業 39時間(小中学校)(長小18回、南小9回、長中12回)

放送による献立解説(地場産物、栄養、行事食等)を行った。

養護教諭や給食主任が作成する保健だより、給食だよりでの児童への啓発や保護者への協力の呼びかけを行った。

【健康推進課】

・妊婦とその夫を対象にパパママ教室を行った。

・第一子を持つ保護者を対象に離乳食教室を行った。

・各種乳幼児健診・相談で身体計測、発育状態の評価をし、食物アレルギーを含め食の安全に関する情報提供及び啓発をした。

・健康講座として骨密度測定会を実施し、希望者にその場で食事、運動の個別相談を実施した。

【子ども未来課】

・保育園での園児に向けた食育の実施。

・保育園の園だよりでの保護者に向けた啓発活動の実施。

【長寿課】

市内各所のサロンにて共食を含んだプログラムを毎月実施した。(R3.1月末現在:94回、延べ681人が参加)

<新たに取り組める事業案>

【みどりの推進課(農政係)】

食事バランスガイドや食育ガイドについてのチラシを作成し、みどりの推進課窓口等に設置し、食育の周知を図る。

【平成こども塾】

令和2年度からは新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、上記を含む食プログラムを全面的に中止している。これを正常化できるようになることが、食育の関心向上につながる。

No.②(1)

1 食を通じて健康な体をつくるための目標

項目:朝食の欠食割合の減少

指標:欠食する人の割合(児童・生徒)(%)

策定年度 (H28)	中間年度 (H30)	目標年度 (R02)	目標値	達成状況
0.5	1.4	0.3	0.0	△

(小5…0.1、中2…0.7)

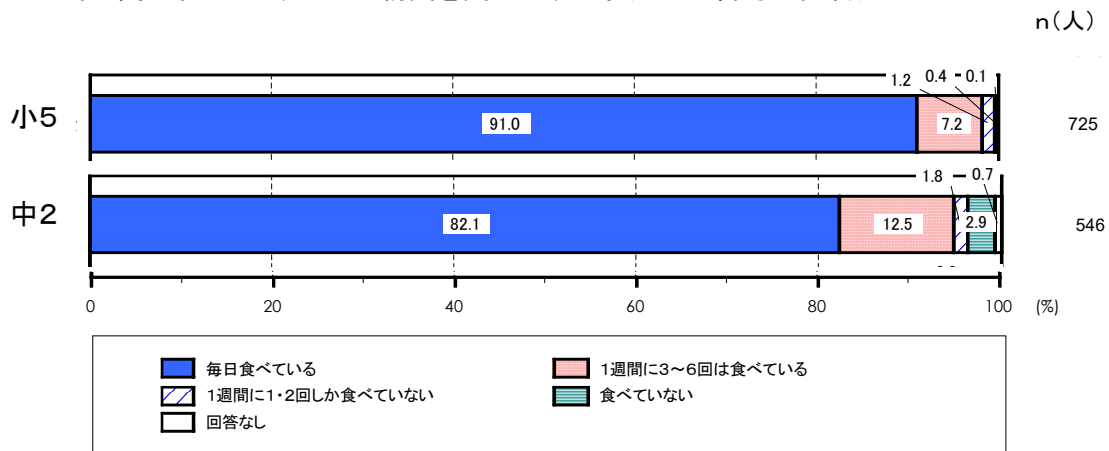
<担当課>

給食センター、教育総務課

<アンケート結果>

小5問 朝食はいつも食べていますか。(1つの番号に回答)

中2問 あなたは、ふだん朝食を食べますか。(1つの番号に回答)



※「食べていない」の値を計上

<各課回答>

<新たに取り組める事業案>

【給食センター】

毎月の献立表や学期ごと発行の学校給食だより「ながくての給食」で、朝食を啓発する情報を発信していきます。

【教育総務課】

前回と異なり、今回の調査結果は小学校と中学校で分かれて数値化されたことにより、単純な比較はできない。一般に、中学生は、部活動・進学塾・SNS使用等により小学生より遅めの就寝・早めの登校の傾向がある。親がもともと食べないため子も食べなかったり、登校前に親が出勤して用意されていない、経済的理由など家庭環境による影響も大きく、学校教育だけの改善は難しい。保護者に限らず広く市民へ啓発していく必要がある。

No.②(2)

1 食を通じて健康な体をつくるための目標

項目:朝食の欠食割合の減少

指標:欠食する人の割合(20歳代~30歳代)(%)

策定年度 (H28)	中間年度 (H30)	目標年度 (R02)	目標値	達成状況
13.1	11	4.4	9.0以下	◎

(男性…15.0、女性…3.4)

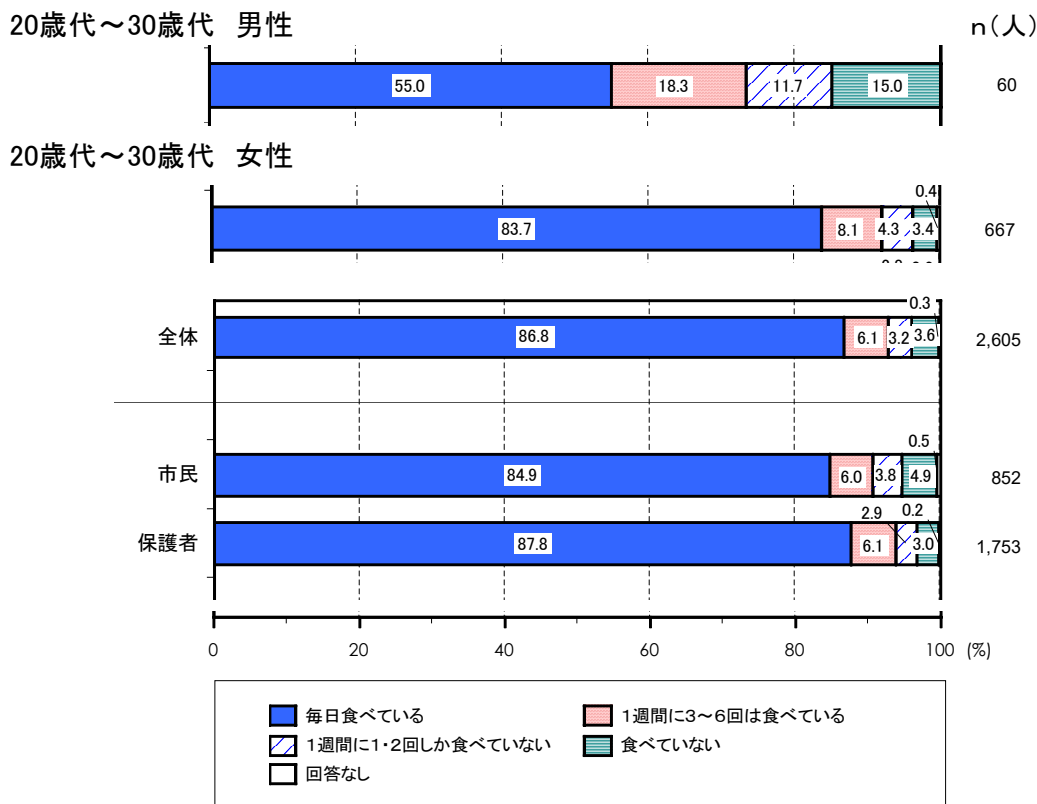
※個別に見ると、男性の欠食割合が高くなっている。

<担当課>

健康推進課

<アンケート結果>

市民・保護者問 あなたは、ふだん朝食を食べますか。(1つの番号に回答)



※「食べていない」の値を計上

<各課回答>

<取組事業>

【健康推進課】

- ・39歳以下健診でリーフレットを配布した。
- ・成人式に朝食のリーフレットを配布していたが、今年度はコロナのためHPに掲載した。

<新たに取り組める事業案>

【健康推進課】

- ・リーフレットを見直し、健康推進課窓口等に設置し、周知を図る。

No.②(3)

1 食を通じて健康な体をつくるための目標

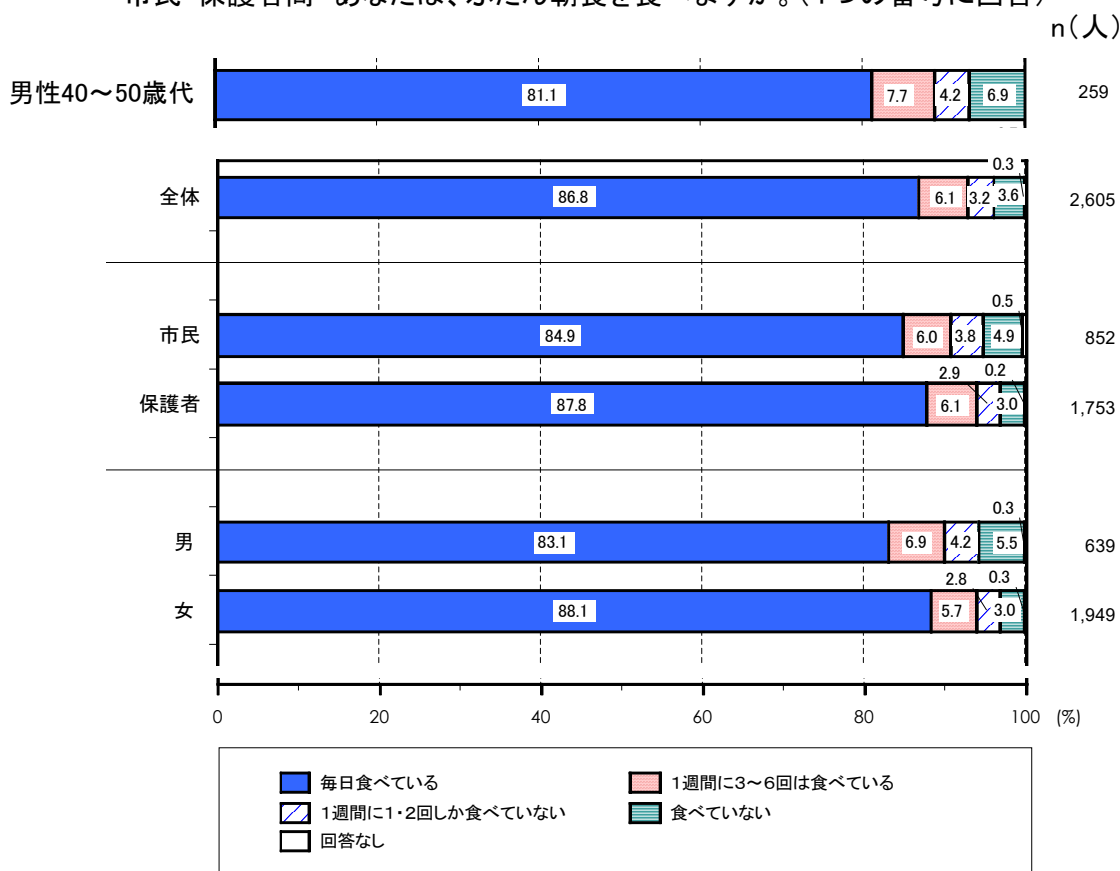
項目:朝食の欠食割合の減少

指標:欠食する人の割合(男性40~50歳代)(%)

策定年度 (H28)	中間年度 (H30)	目標年度 (R02)	目標値	達成状況
9.9	8.1	6.9	9.0以下	◎

<担当課>
健康推進課

<アンケート結果>
市民・保護者問 あなたは、ふだん朝食を食べますか。(1つの番号に回答)



※「食べていない」の値を計上

<各課回答>

<取組事業>

【健康推進課】

小中学生親子を対象に、朝食づくり講座を実施していたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大中であったため講座を中止し代替としてHPに講義・レシピを掲載し周知を行った。

No.③

1 食を通じて健康な体をつくるための目標

項目：朝食で野菜・海藻を食べる市民の割合の増加

指標：朝食で野菜・海藻を食べている小中学生の割合(%)

策定年度 (H28)	中間年度 (H30)	目標年度 (R02)	目標値	達成状況
58.3	54.2	57.41	80.0以上	△

(小5…58.4、中2…56.1)

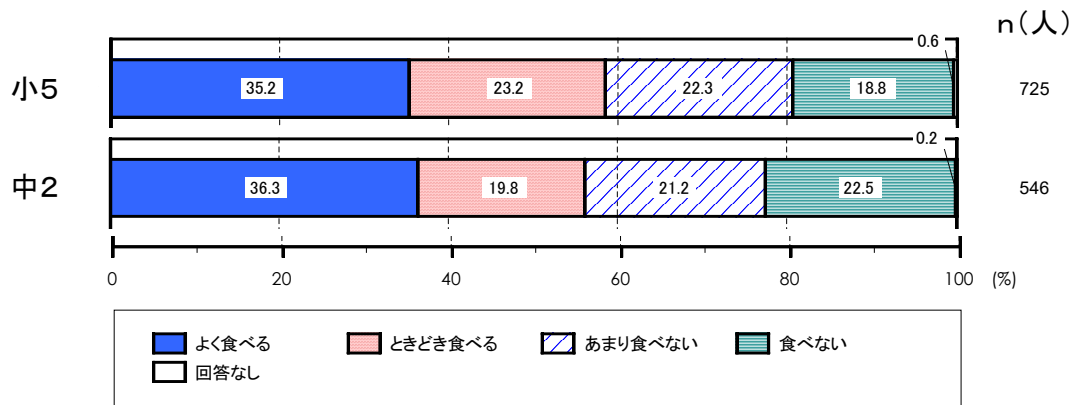
<担当課>

給食センター、教育総務課

<アンケート結果>

小5問 朝食で次のものを食べますか。野菜のおかず・かいそうのおかず

中2問 あなたは朝食で次のものを食べますか。副菜(野菜のおかず・海藻のおかず)



※「よく食べる」「ときどき食べる」を計上

<各課回答>

<新たに取り組める事業案>

【給食センター】

毎月の献立表や学期ごと発行の学校給食だより「ながくての給食」で、朝食を啓発する情報を発信していきます。

【教育総務課】

No.②(1)と同様に、親がもともとコーヒー等簡易に済ますため子も食べなかったり、登校前に親が出勤して十分な内容で用意されていない、経済的理由など家庭環境による影響も大きく、学校教育だけの改善は難しい。広く市民へチラシ配布等により啓発していく必要がある。

No.④

1 食を通じて健康な体をつくるための目標

項目: 食事バランスガイド、食育ガイドの認知度の向上

指標: 食事バランスガイド、食育ガイドを認知している市民の割合(%)

策定年度 (H28)	中間年度 (H30)	目標年度 (R02)	目標値	達成状況
49.5	80.3	65.8	60.0以上	○

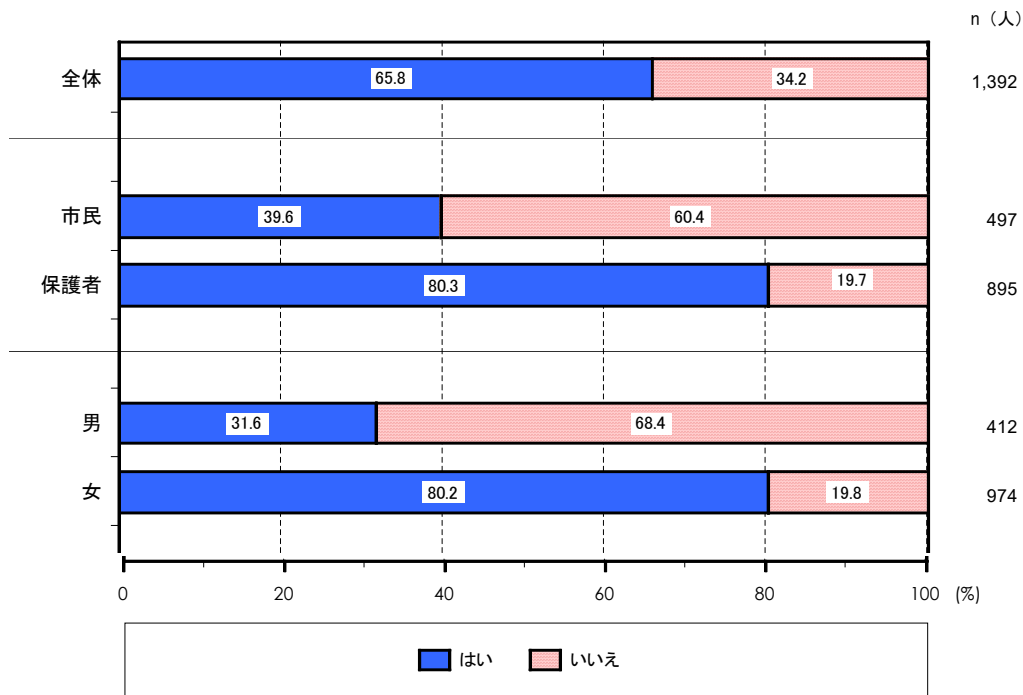
※今回は保護者と一般市民を対象としていることが、数値が下がった1つの要因だと思われる。

<担当課>

みどりの推進課

<アンケート結果>

市民・保護者問 あなたは「食事バランスガイド」、「食育ガイド」を知っていますか。(1つに○印)



※「はい」の値を計上

<各課回答>

<取組事業>

【みどりの推進課(農政係)】

・市ホームページ及び広報で、食事バランスガイド及び食育ガイドについてや、食育月間についての記事を掲載した。

<新たに取り組める事業案>

【みどりの推進課(農政係)】

・食事バランスガイドや食育ガイドについてのチラシを作成し、みどりの推進課窓口等に設置し、周知を図る。

No.⑤

1 食を通じて健康な体をつくるための目標

項目: 食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている市民の割合の増加

指標: 食品購入時において、栄養成分、原産地、添加物、品質等の表示を参考に
する市民の割合(%)

策定年度 (H28)	中間年度 (H30)	目標年度 (R02)	目標値	達成状況
40.0	30.9	22.3	60.0以上	×

<担当課>

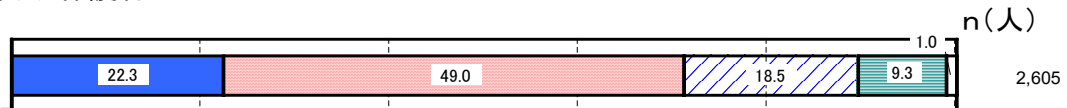
みどりの推進課

<アンケート結果>

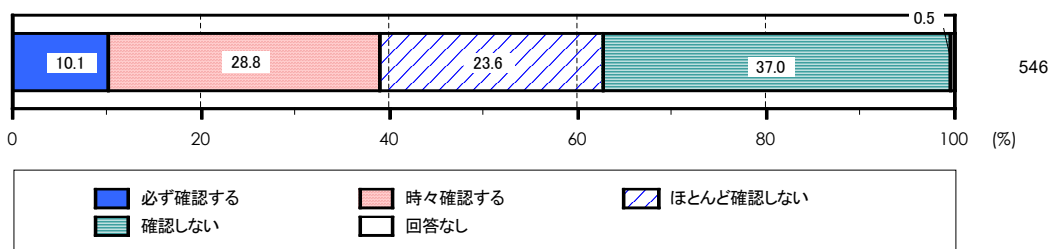
市民・保護者問 あなたは外食するときや食料品を購入するとき、栄養成分、原産地、
添加物や品質の表示を確認していますか。(1つに○印)

中2問 あなたは、外食するときや食料品を購入するとき、カロリーなどの栄養成分、
原産地、添加物や品質の表示を確認していますか。(1つの番号に回答)

市民・保護者



(参考: 中2)



※「必ず確認する」の値を計上

<各課回答>

<取組事業>

【みどりの推進課(農政係)】

・市ホームページ及び広報で、食事バランスガイド及び食育ガイドについてや、食育月間についての記事を掲載した。

<新たに取り組める事業案>

【みどりの推進課(農政係)】

・食事バランスガイドや食育ガイドについてのチラシを作成し、みどりの推進課窓口等に設置し、周知を図る。

・令和3年度に行う予定である、食育推進計画改訂に向けたワークショップの際に、食品購入時の注意点等に関する情報を発信するイベントを開催する。

・あぐりん村のリニューアルオープン時に、市HP・広報及びチラシ等であぐりん村への集客を図る。(あぐりん村は原産地等が分かりやすく表示されているため、あぐりん村以外で食品を購入する際にも表示を確認するようになる?)

No.⑥

2 食を通じて豊かな心を育むための目標

項目: 家族や友人等と一緒に食事を摂る市民の割合の増加

指標: 一日最低一食は、家族や友人等と一緒に食事を摂る市民の割合(%)

策定年度 (H28)	中間年度 (H30)	目標年度 (R02)	目標値	達成状況
-	96.8	91.6	50.0以上	○

<担当課>

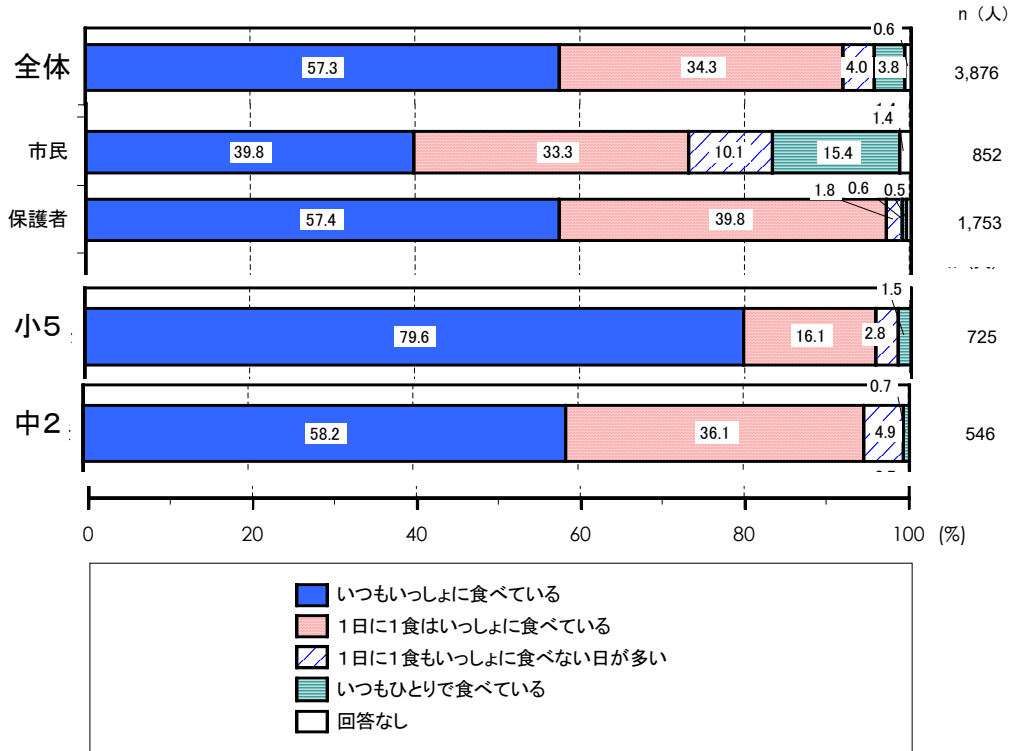
みどりの推進課、平成こども塾、給食センター

<アンケート結果>

市民・保護者問 あなたは家族や友達と一緒に食事をしていますか。(1つに○印)

小5問 いつもは家族や友達といっしょに食事をしていますか。(1つの番号に回答)

中2問 あなたは、ふだん家族や友達といっしょに食事をしていますか。(1つの番号に回答)



※「いつもいっしょに食べている」「1日に1食はいっしょに食べている」の値を計上

<各課回答>

<取組事業>

【みどりの推進課(農政係)】

食育月間を中心に共食を呼びかけた。

【平成こども塾】

平成こども塾では、学校連携事業及びサポート隊事業において1年間を通じて食プログラムを実施しているが、ここで体験をしたことを家族に話したい児童・生徒が多いと聞いている。焼き芋や収穫した野菜類を使った料理は、食事時の話題になり、家族や友人等と一緒に食事をする機会の増加につながる。

<新たに取り組める事業案等>

【平成こども塾】

令和2年度からは新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、上記を含む食プログラムを全面的に中止している。これを正常化できるようになることが、一緒に食事をする人数の増加につながる。

【給食センター】

毎月の献立表や学期ごと発行の学校給食だより「ながくての給食」で、食育を啓発する情報を発信していきます。

No.⑦

2 食を通じて健康な体をつくるための目標

項目：農作業に触れる市民の割合の増加

指標：農業体験をしたことのある子どもの割合(%)

策定年度 (H28)	中間年度 (H30)	目標年度 (R02)	目標値	達成状況
85.6	82.9	86.3	90.0以上	△

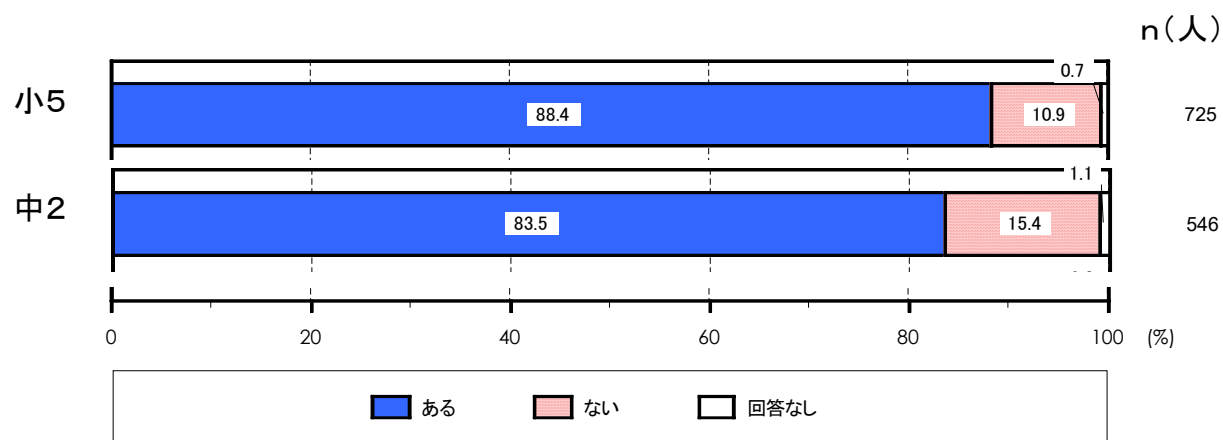
(小5…88.4、中2…83.5)

<担当課>

みどりの推進課、平成こども塾、子ども未来課、教育総務課

<アンケート結果>

小5・中2問 あなたは、米づくりや野菜づくりなどの農作業を体験したことがありますか。プランターでの野菜づくりも含まれます。(どちらかの番号に回答)



※「ある」の値を計上

<各課回答>

<取組事業>

【みどりの推進課(農政係)】

農楽校と保育園が連携した芋掘り体験を実施した。

【平成こども塾】

サポート隊事業の食と農班「こどもファーム」において、1年間を通じて農業プログラムを実施している。この事業は、ほぼ毎週活動しており、その中で、自分たちで米や野菜類の苗を植えたり、種子をまいたりして栽培し、その後、管理、収穫等を行うプログラムを実施した。継続することで、体験した児童は毎年積算して増えていくので改善につながる。

【子ども未来課】

保育園の年長児を中心として、上郷地区の田んぼで田植えと稲刈りを行い、米を育てることについて実際に体験した。

【教育総務課】

数値が低いのは、過去に保育園・小学校等で経験しているが、記憶が薄らぎイメージできず回答していることによると想定される。

小学校：学校農園(ない学校ではプランター等を活用)において、低学年の生活科では栽培と調理(市小は近隣畑を活用)、中・高学年の理科では植物の観察を主たる目的として活用している。

中学校：南中、北中に特別支援学級用の農園があり、栽培、観察及び調理を主たる目的として活用している。なお、通常学級の授業のうち技術科においては、栽培を目的とした野菜等のプランター栽培を行っている。

<新たに取り組める事業案>

【平成こども塾】

令和2年度からは新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、上記プログラムの実施回数や参加定員などが大きく制限された。これを正常化できるようになることが、農業体験者の増加につながる。

No.⑧

2 食を通じて豊かな心を育むための目標

項目:食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」を言う市民の割合の増加

指標:一日一回以上、食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」を言う市民の割合(%)

策定年度 (H28)	中間年度 (H30)	目標年度 (R02)	目標値	達成状況
-	91.7	88.1	50.0以上	○

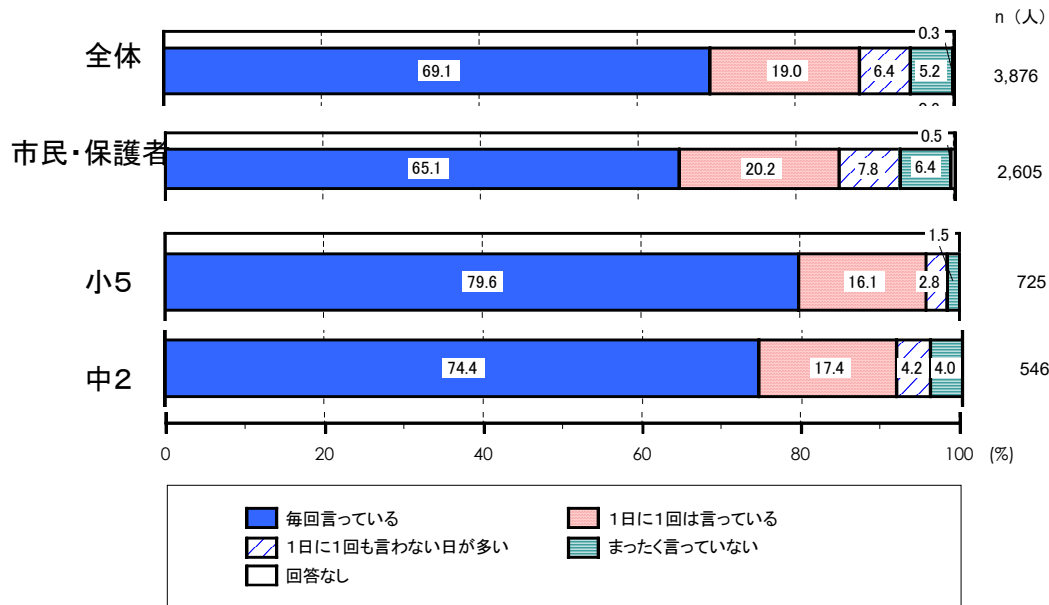
<担当課>

平成こども塾、給食センター

<アンケート結果>

市民・保護者問 あなたは、家庭で食事をする時に「いただきます」や「ごちそうさま」を言っていますか。(1つに○印)

小5・中2問 あなたは、家庭で食事をする時に「いただきます」や「ごちそうさま」を言っていますか。(1つの番号に回答)



※「毎回言っている」「1日に1回は言っている」の値を計上

<各課回答>

<取組事業>

【平成こども塾】

学校連携事業は昼食を伴うプログラムとなっているので、必ず「いただきます」「ごちそうさま」を言っている。サポート隊事業においては、食と農班が季節ごとに収穫物等を使った食プログラムを実施しており、その中で必ず「いただきます」「ごちそうさま」を言っている。

【給食センター】

毎月の献立表や学期ごと発行の学校給食だより「ながくての給食」で、食育を啓発する情報を発信していきます。

<新たに取り組める事業案>

【平成こども塾】

令和2年度からは新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、上記を含む食プログラムを全面的に中止している。これを正常化できるようになることが、目標達成につながる。

No.⑨

3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くための目標

項目：地元の農産物を購入する市民の割合の増加

指標：愛知県内で生産された農作物を購入するようにしている市民の割合(%)

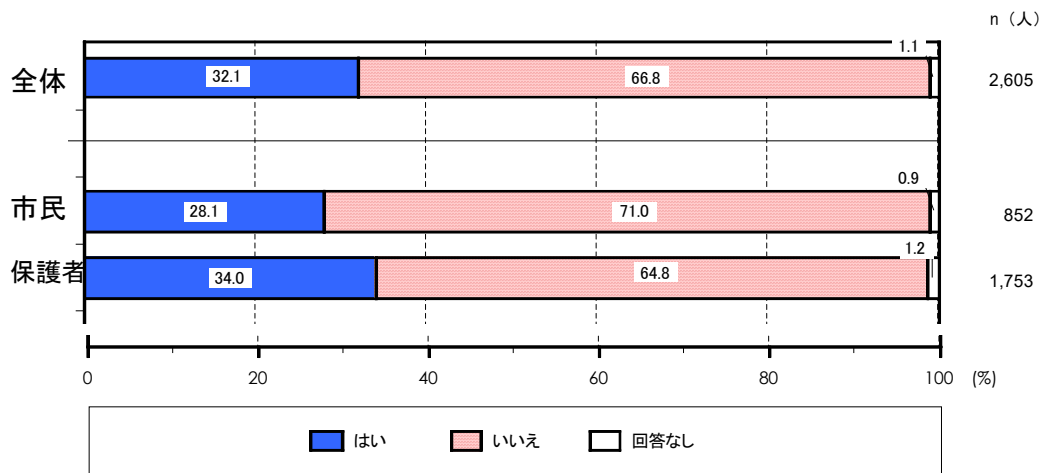
策定年度 (H28)	中間年度 (H30)	目標年度 (R02)	目標値	達成状況
34.7	31.0	32.1	50.0以上	△

<担当課>

みどりの推進課、給食センター

<アンケート結果>

市民・保護者問 あなたは、愛知県産の農作物を選んで購入していますか。(1つに○印)



※「はい」の値を計上

<各課回答>

<取組事業>

【みどりの推進課(農政係)】

- ・伝統野菜である真菜の普及のため、みどりの推進課窓口で種子の配布を行うとともに、市HPで真菜の紹介を行った。
- ・あぐりん村について、市HP及び広報等でPRを行った。

【給食センター】

引き続き、献立に県産農作物の使用を取り入れます。毎月の献立表や学期ごと発行の学校給食だより「ながくての給食」で、地産地消や食育に関する情報を発信していきます。

<新たな取組事業案>

【みどりの推進課(農政係)】

- ・令和3年度に行う予定である、食育推進計画改訂に向けたワークショップの際に、地産地消に関する情報を発信するイベントを開催する。
- ・あぐりん村のリニューアルオープン時に、市HP・広報及びチラシ等であぐりん村への集客を図る。

No.10

3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くための目標

項目：食を通じて環境に優しい暮らしに取り組む市民の割合の増加
 指標：むだや廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている市民の割合(%)

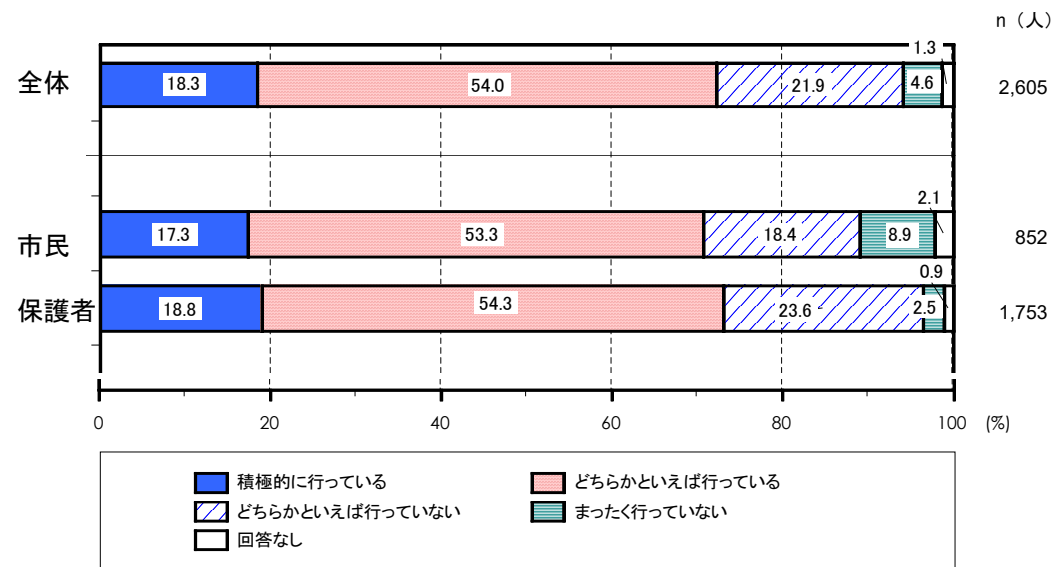
策定年度 (H28)	中間年度 (H30)	目標年度 (R02)	目標値	達成状況
-	67.0	72.3	50.0以上	◎

<担当課>

みどりの推進課、平成こども塾、環境課、教育総務課、子ども未来課

<アンケート結果>

市民・保護者問 あなたは、社会や環境に配慮してむだや廃棄の少ない食事づくりを行っていますか。(1つに○印)



<各課回答>

<取組事業>

【みどりの推進課(農政係)】

あぐりん村に野菜くずを使った堆肥化装置を設置し、出荷者に対して環境への配慮の意識づけを行った。

【平成こども塾】

学校連携事業においては、昼食をはさむプログラムとなっているので、食べ過ぎにならないよう配慮しつつ、できるだけ食べ残しのないように指導を行った。

サポート隊事業においては、食と農班の中の「こどもファーム」が一年間を通じて活動しており、その中で、自分たちで米や野菜類の苗を植えたり、種子をまいたりして栽培し、その後、管理、収穫等を行っていることから、米や野菜類を含む食べ物を大切にする意識は高まった。食べ物に対する「もったいない」という心も自然に育まれている。

【環境課】

市ホームページに新たに食品ロス削減に関するページを設けたほか、食品ロス削減月間の広報10月号「わたしのまちづくり」で食品ロス削減に取り組む市民へのインタビューを紹介し周知を図った。

【教育総務課】

学校給食では、継続的に食に対する感謝の気持ちを育む活動として、食べ残しを減らす取組、また環境の面では食材の無駄を出さないエコクッキングの普及啓発等を行っている。

【子ども未来課】

食事を残さず食べることができるよう、園児一人ひとりにあつた量の配膳を心がけた。また、食に関して感謝の気持ちと食べ物を大切にする心を持つように、食事のマナーを身に着けるようにした。

No.⑪

4 食育を支えるための目標

項目:食育の推進に関わるボランティア数の増加

指標:食育の推進に関わるボランティア数(人)

策定年度 (H28)	中間年度 (H30)	目標年度 (R02)	目標値	達成状況
219	244	201	350以上	×

<担当課>

全課

<集計結果>

回答課	ボランティアの名称	人数
たつせがある課	長久手市日赤さつき奉仕団	18
たつせがある課	長久手自然学習会	9
たつせがある課	食育あったかねっと	3
たつせがある課	長久手ベジクック	6
たつせがある課	にこ北カフェ	5
たつせがある課	NPO法人楽歩	25
教育総務課	市小 野菜&花の会	8
健康推進課	食生活改善推進委員会	18
平成こども塾	平成こども塾サポート隊	40
みどりの推進課	特定非営利活動法人まちのお百姓さんの会	30
みどりの推進課	あいち長久手ファーム	20
みどりの推進課	ふれあい三楽菜園	19
合計		201

<各課回答>

<取組事業>

【平成こども塾】

平成こども塾において、食育の推進に関わるボランティアは、サポート隊が該当するが、人数は前年度に比較して減少した。これは近年参加がないサポート隊メンバーを除籍した結果である。しかし、ここ数年来新規メンバーを増やすべく地道に声かけをして勧誘活動を行った結果、令和元年度は15人、令和2年度は3人(令和3年2月20日現在)が新規登録をした。

【教育総務課】

市が洞小学校では、地域に学校農園を準備していただき、例年はサツマイモの植え付けと収穫(今年度はコロナの影響で収穫のみ)を体験させていただくとともに、普段の管理をお願いしている。

【健康推進課】

食を通した健康づくりや食育を生活から地域へと広める活動を周知。

<新たに取り組める事業案>

【健康推進課】

食生活改善推進員を養成するための講座を開催する。

【平成こども塾】

令和2年度からは新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、上記を含む食プログラムを全面的に中止している。これを正常化できるようになることが、参加児童の保護者やボランティアをやりたい方の意識が前向きになりボランティア数の向上につながる。